

「恋人の聖地」に カップルベンチ

館山ロータリークラブ(RC)は創立60周年記念事業として、

「恋人の聖地」に認定されている館山市にカップル向けベンチ3基を寄贈した。「関東の富士見百景」として人気のある北条海岸北條棧橋ふもとに設置。市が進める恋人の聖地を活用したまちづくりの勢いをつける。

恋人の聖地は、NPO法人地域活性化支援センター(静岡市)が全国で展開しており、館山市は「鏡ヶ浦から富士の見えるまち」として認定されている。市の若手職員によるプロジェクトチームが恋人の聖地活用やカップル応援の取り組みを進め、館山RCが取り組みを支援した。

ベンチは海岸沿いに並び、対岸に見える富士や夕日など刻々と変わる鏡ヶ浦の景色を楽しむ

館山RCが寄贈



海岸沿いに設置されたカップル向けベンチ＝館山市

ことができる。3基とも背もたれが結婚してまた来てもらえるのではなく、中央のベンチは中央 ような場所になれば」と激励。部が低くカップルが寄り添いや 金丸謙一市長は「鏡ヶ浦、富士、夕日を一緒にアピールできる絶

すい形状となっている。館山RCの福原暎会長は「べ好のスポットとなった。しっかベンチに座ってたくさんの思い出りPRしていきたい」と意気込をつくってもらいたい。カップみを語った。